

# 群馬県 グループホームひまわり 地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

取り組んでいきたい項目

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	個々に合わせた生活空間を提供する。	○	一人一人の性格・身体レベルを職員全体が把握し、一人の人間として尊重し、ストレスにならないように性格リズムを促している。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	リハに関しても自立・介助に分け、個々にあった状態レベルで行っている。	○	管理者・職員が一体となり、1人1人の個性を活かし、実践していききたい。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	家族や地域へ理念を伝えてはいるが、浸透にまでは至っておらず今後の取り組んでいく。	○	家族よりも地域の人々に理解が欠けているため今後、理解してもらおうため力を入れていききたい。
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	隣近所と気軽に挨拶のできる関係であるが、大きな付き合い等はない。	○	施設長・管理者が足を運び、地域の人々に理解してもらったうえで気軽に運べるよう提供し、付き合い合っていくようにしていきたい。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域のお祭りなどの行事に参加し、地元の人々と交流を行っている。	○	交流に参加してても施設長・管理者を筆頭に今以上に地域の活動に参加し、交流できるように努めていくよう努力していきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	現在は実施していない。	○	今後取り組んでいきたいと思っている。(施設長等に他の施設に足を運び、他の施設と交流し、その事業者や職員レベルに応じ、会議し、実践していきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の意義を理解し、改善すべき点は改善をするように努力して、今以上に改善点を行って行くように努力する。	○	一つでも多く実践し、不十分な点は、早期に実践し、維持できるようにし、職員1人1人に今以上に意義を理解できるように活かしあい、実践し維持していきたい。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	現在行っているため同様に行う。		今も行っているも今後も市の職員の人たちに出席してもらい、会議での問題点を施設会議をして、具体的に案を出して検討しサービス向上に活かしていきたい。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	検討中	○	施設長をはじめ今後行っていく方法を検討している。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	検討中	○	今後1人1人の状況を把握し、機会を持ち必要性があるか会議を持ち検討し、必要な人には活用できるよう機会を提供できるように努める。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員全員日々の中で注意をはらい、虐待防止に努めている。		今も行っているも、少しの傷でも何故できたのかを把握し随時1人職員が付き利用者を観察し、防止に努めていく。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	現在行えている。	今も行っているも不安・疑問はもとより入所時身体レベル性格趣味を把握し、サービス開始後家族とも連絡をし、入れてもらいたいサービス等を行い納得してもらい、解約等も解約の意図を家族側からの解約であれば本人からも聞き納得をし、施設側からであれば意図を説明し、納得してもらえるように話をし納得してもらう。
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日々の中で行っている。その他でもその時々の問題を随時行っている。	今も行っているも、活発的な利用者が多く、その場で訴えるためその場で解決また職員が苦情等を察した場合全体と個々に面談をとり解決し、1年に2回は必ず面談して行っている。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族が来所された時には伝え、来所できない方へは施設内広報を送るなどをし、伝えている。	同様に行っていく。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱等を設けるなどをし意見を伺い、1ヶ月に1回定期的に会議を行っている。	同様に行っていくが、今以上の意見が出せる機会を検討し、反映させていきたい。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	その都度ここに対応をしている。	同様に行っていく。今後は全体の問題を管理者に伝え、会議等で現す場を設けていく。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	できる限り、管理者が日勤帯に在席し、対応できるようにしている。	同様に行っていく。今以上1人1人その状況変化に対応できる介護能力をつけていくようにする。
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	事前に伝えるようにし、ダメージを最小限に抑えよう努めている。	同様に行っていく。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>レベルアップ研修で学んできたことを取り入れられることは取り入れ、育成のために会議を開き、職員全体で話す機会を設け、取り入れている。</p>	<p>今と同様に行うも今以上に育成の為に色々な会議等認可して職員・管理者がその内容により勉強会等を開き行っていく必要あり一書面上だけではなく</p>
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>個々最近ではあるが以前は管理者のみ会議に参加であったが、このごろは職員各1名ずつ同席し参加し勉強会に参加し、質の向上の糸口となっている。</p>	<p>勉強会はしているも今後の課題とし、ネットワーク作りに力を入れ、努力する。</p>
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>特に解消対策はない。</p>	<p>ただし、管理者が職員ストレスをキャッチし、その都度ストレスの軽減に努めている。また、管理者不在の時は代理の方がとるようにし、管理者のストレスは代理人と行っている。また、時には食事会によりストレスを軽減している。</p>
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>運営者は1日に1回施設に訪れ、職員に声がけをし会話を行っている。</p>	<p>今後同様に維持していく。課題として、今より努力・実績を把握みとめ給料面に反映させる。</p>
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>個々に利用者の行動により、見分け、声掛け等により対応。時には必要性がある場合は1人1人面談を行うなどし機会を設ける。</p>	<p>今までどうり真剣に向き合う。また、個々の立場にたって考え、1番よい対策をしていく。その後も会議等を開きその人の対策方法を考え行っていく。</p>
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>意見箱をもうけ、支払い時に聞いたりしている。</p>	<p>今後今以上に家族が放置状態の利用者の方にも今以上に連絡をとり、機会をとるように努力する。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受けた場合、管理者・施設長に連絡をとり、対応(ただし今のところ家族からは現状維持が多くある。)		同様の対応策にて行う。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	見学した上、本人も利用者の方々と会話(1日体験)のように行い会話などあっているか体験してもらった上、家族とはもとより相談するも本人同席の場合聞き合っているか聞くなどして開始時にそのような工夫をしている。		今までどおりに行う。今後は情報収集はもとより、趣味等必要物品を用意し、これまでの生活とかわらぬ生活空間を取り入れる等の工夫をしていくようにしたい。
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者の立場も考えたうえ、介護される目線になり、職員も共に喜怒哀楽を築くよい関係をとっている。		今まで同様に行うももとより今以上によりよい関係を築き、職員1人1人介護力を身につけるように努力していきたい。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族と共に連絡をとりつつ、職員も共に喜怒哀楽を本人と築いている。		よい関係を築く上で今以上に本人の喜怒哀楽の面で知らない一面を探しつつ今以上に職員も一層よりよい関係作りに力を入れていきたい。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	今までは面会に来ては本人に会わず帰られた家族の方もいましたがなるべく本人と会話を職員も入り少しづつ理解してもらいよりよい関係になってきている。		今まで同様にしていき、色々な行事も時間を作ってもらい参加して楽しくよい関係になれるように工夫をこらしていきたい。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	今はできる限り全体の家族との外出を促して行ってもらい例えば宗教的な慣わしの場に行くなどその人の馴染みを支えている。		今まで以上にその人のことを知り、家族の方にも今以上に協力してもらいここの馴染みを行うよう努力していく。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	絶えず職員が対応し個々の個性を生かし会話等行いながらコミュニケーションを取り孤立しないように目を配りながら行っている。		今まで同様に行うもその時々々の雰囲気により孤立しないような対応を今以上に身につけていけるように努める。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	家族より連絡必要的であればその連携を大切にしている。		今まで同様に行いネットワークの必要性を大切にしていきたいし、また家族のニーズに対応できるように努力していく。
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	個々の歩み方(生活リズム)を考慮し、本人の要望にできる限り行えるように努力している。		入所の際、生活歴を具体的に家族等に聞き、日々の変化に対応できるよう努力している。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	個々の生活歴等は違うもこれまでのサービス経過を把握し、その人らしい生活空間をできる限り提供している。		今までもしているも全て行えているわけではなく見逃しているところもあると思うのでもう1度今までの営みを再確認していき、努力していく必要がある。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	管理者筆頭にワーカーの意見等を聞き相談しながら少しのことでも見逃さないよう努力している。		今まで以上に職員が一丸となり現状観察・把握に力を入れて行っていく。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人が自分らしく暮らせるように日ごろのかかわりの中から本人・家族からの要望を聞き、職員全体で意見交換をし、ケアマネージャーが介護計画を作成している。		同様に行っていく。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月のたびに見直し、日々の状態変化に注意しつつ介護計画見直しを行っている。		介護計画と共に状態把握し本人・家族の要望を取り入れて最新の情報をもとに見落としがちなどころにあった対応をするにもなるべく月1回に直しを行えるように努力していく。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の変化を(申し送りノート)に記し職員個々に連絡して実践介護計画に反映している。		同様に行う。
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人・家族の状況を聞くようにし、行事等その日々にあった支援を行い、ここに満足してもらうように努力している。		同様に持続していく。
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ボランティア(中学生・慰問等)取り入れ、消防等(訓練)等取り入れながら協力し支援していく。		同様に行っていく。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	同関連施設等のケアマネジャーにより地域ケア会議等で他のサービス支援に努力している。		同様に行っていく。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	今のところ行っていない。		今後の課題であり検討中
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期受診し、要望のある時は行っている。通院の付き添いも同様に行っている。ただし全体的によくはなっていないも協力が足りていないため現状維持		同様に行っている。少し筒協力を得られるように努力し、実践できる見込みができた時希望等に応えるようにしていく。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		同様にっていく。
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		同様にっていく。
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		今のところ現状維持にて行う。
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		今後重度化に研修実施を考えている。
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		同様にかかりつけ医と問題解決の相談等行うよう施設内で検討している。
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		同様にっていく。



項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員ミーティングは行っているも行動とはなっていない。	今後施行するように努力できるように進んでいるところ。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	今のところ行ってはいない。	今のところ職員の介護力のレベルに至らず下積み過程で今後職員に合わせ検討中
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その時々々の体調を見極めその場面になって考え、その日々の過ごし方を支援するように努めている。	同様に行っていく。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	家族の金銭的問題も含め理髪等を行い身だしなみ・服装は本人希望のものを着用し季節に合ったものを身に付けるようにしている。	同様に行い現状維持
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	本人から行った場合は共に行い、無理にならないよう心がけ、特にこちらからは強制はしない。	同様に行っていく。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	つきに1度月間行事にてお酒等個々の状況により楽しむようにしている。	日々毎に行うとまとまりをなくした前歴もありつき1回と定めている。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	自立・介助で行い、自立も促し(声かけ)にて対応。また、介助で全体的はなくし、時間にて提示しできる限り自力排泄をおこなうようにしている。		現状維持にて今まで同様に行っていく。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週2回の入浴を基本とし、希望によりその都度、個々に対応している。できない人は部分浴、清拭対応施行している。		今まで同様に行っていく。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	ホームの理念にうたっているように個々に合わせた生活空間となっており、個々の生活に合わせたリズムを提供し支援している。		時に応じ服薬しようにて対応を心がけている。
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	個々の力を発揮してもらい、行う人は自ら行うため感謝の言葉を伝えるようにし、外出・行事等は利用者に案等を出して行っている。		同様に行っていく。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自力で管理できる方に関して所持し使えるようにしている。		同様に行っていく。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	希望・訴えがあるときのみ行っている。(ドライブ・散歩)		同様に行っていく。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	家族には連絡するも現状ではそこまでの協力が得られず家族・協力者のみとなっている。(外出または面会等)		同様に行っていく。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	自らできる方のみとなっている。		同様に行っていく。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	電話連絡・本人訴えのある方のみ行っている。(家族状況により)		同様に行っていく。
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ベット柵は一切しておらず、個々の職員も把握し絶えず伝達し実施している。		現状維持にて行っていく。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中、開放的空間の提供をし弊害の理解をし、鍵をかけないケアを実施している。		同様に行っていく。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	見守りを行い、その場に応じその他の人につく職員対応となっている。		現状維持にて行っていく。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	保管場所は定まっていって一律になくしておらず。状況にあった対応ができるようになっているも今のところそのような危険がないのが現状。		同様に行っていく。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	自力であっても見守りを行い、危険な方には必ず1名職員がつき対応し事故防止に努めている。		現状維持にて行っていく。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	マニュアルも掲示し、全体の連携もとれ、対応、対策はできている。		同様に行っていく。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防火管理者在席しており、避難訓練(民生委員・区長・消防職員・職員全員)参加し、実施している。普通救命講習取得させるなどの働きかけるなど努力をしている。緊急連絡網の提示。		同様に行っていく。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	個々により、体調の変動を本人家族に伝え日々の暮らしに対応できるように対応している。		現状維持にて行っていく。
<b>(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日、提示にバイタルチェックまた顔色等十分に注意観察し発見時には管理者筆頭に情報伝達により対応し、必要に応じ速やかに受診等を行っている。		同様に行っていく。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	カルテに提示し、受診等に付き添った方はその都度伝え、用法等により変化に対応できよう行っている。		同様に行っていく。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	個々にあわせ時に応じ服薬・定期服薬し取り組んでいる。また本人の負担にならないよう運動も多少行うなど努力している。		同様に行っていく。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	自力・介助に毎食後のケアを行っている。夕食後ポリデント使用し、時に体調変動に応じ介助も行っている。		現状維持にて行っていく。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	その日々の摂取状態により補助食品物にての摂取。また水分摂取不可の場合トロミにて摂取させるなどし心がけている。		同様に行っていく。
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	予防接種(インフルエンザ実施)・感染症予防マニュアルの作成も行っている。また、嘔吐下痢予防に塩素系ハイターにて対応している。		現状維持にて行っていく。
79 ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	ふきん・コップのハイター消毒。食品に関しても週2回配達等により管理使用している。		同様に行っていく。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり			
(1)居心地のよい環境づくり			
80 ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関に植木等植え、親しみやすい雰囲気を取り入れるなど工夫している。		同様に行い、今以上に親しみやすい空間作りに努めていく必要あり。
81 ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	場所により季節感を出すなどして工夫し、不快感を除去するなど心がけている。		今も行っているも、これからも生活観や不快感を与えぬ工夫に力を入れていくよう努めている。
82 ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	場所も密接空間となるつくりであり、共用空間を取り入れ、気の合った利用者同士の席となっている。1人になれる場所も設けるなどの工夫しながら行っている。		同様に行って共用空間に一層努力して個々にあった空間作りを提供していきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居の際、所有していた物なども持ってきていただき、本人と家族等相談の上、本人らしい生活しやすい居室提供に努めていく。		現状維持にておこなっていく。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	訴えあれば行い職員の感じた時にも速やかに行っている。		今までどうり行っても定期に行うことも必要との意見もあり、実施する方向にもっていているところである。
<b>(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</b>				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手摺・床の張替え等少しづつであるも安全を改善してきている。		同様に徐々に改善方向していくよう思案中
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	混乱はなく失敗に感じ、いろんな方法を取り入れ実践しているところである。		今後も同様に行っていく。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	外回りの少しの空間を使い、季節の合った野菜再演をしたり、日光浴等を行えるよう活かしている。		今後も発展段階である。今の施行も維持し行っていく。

V. サービスの成果に関する項目			
項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

利用者の意見を聞き入れ月間行事を行っている。(日帰り温泉・楽しみ会・手作りおやつなど)